

歯科口腔外科学

教授	古田 勲
助教授	岩井 正行
助手(前)	佐渡 忠司
助手	伊藤 重人
助手	中山 圭子
助手	和田 重人

◆ 原 著

- 1) Honma M., Hayakawa Y., Kosugi H., Kozumi F.: Localization of mRNA for inflammatory cytokines in radicular cyst tissue by in situ hybridization, and induction of inflammatory cytokines by human gingival fibroblasts in response to radicular cyst. *J Oral Pathol Med.*, 27: 399-404, 1998.
- 2) 岳 麗華, 岩井正行, 古田 勲: 舌癌におけるp34^{cdc2}の免疫組織化学的検討. *口腔腫瘍* 10: 99-105, 1998.
- 3) Wada S., Tazawa K., Furuta I.: Application of hyperthermia using dextran magnetite complex (DM) for head and neck cancer -The properties of heated normal tongue in golden hamster-. *Jpn. J. Hyperthermic Oncol.*, 14: 197-205, 1998.
- 4) 尾口仁志, 軽部康代, 山本瑞恵, 松本亀治, 中山圭子, 森戸光彦: 生体外におけるヒト歯肉上皮細胞とチタンとの反応. *日本補綴歯科学会雑誌* 42: 97, 1998.

◆ 症例報告

- 1) 和田重人, 古田 勲, 小野 繁, 岩井正行, 佐渡忠司: 頭蓋底へ進展した耳下腺深葉原発多形性腺腫の1例. *日口外誌* 44: 330-332, 1998.

◆ 学会報告

- 1) 石井義人, 岩井正行, 伊藤重人, 松田 源, 古田 勲: 歯肉癌に対する化学放射線療法の効果について. 第16回日本口腔腫瘍学会総会, 1998, 1, 神戸.
- 2) 川上由美, 石井義人, 竹口英人, 和田重人, 岩井正行, 古田 勲: 当科における歯原性腫瘍の臨床的検討. 第16回日本口腔腫瘍学会総会, 1998, 1, 神戸.
- 3) 岩井正行, 佐渡忠司, 和田重人, 伊藤重人, 古田 勲: 下顎歯肉癌治療後に生じた類上皮肉腫の一例. 第16回日本口腔腫瘍学会総会, 1998, 1, 神戸.

- 4) 伊藤重人, 岩井正行, 姚 立, 岳 麗華, 古田 勲: 舌癌におけるび慢性浸潤癌の細胞増殖と遺伝子異常に関する免疫組織化学的研究. 第52回日本口腔科学会総会, 1998, 4, 松山.
- 5) 加藤泉子, 伊藤重人, 石井義人, 竹口英人, 岩井正行, 古田 勲: 当科における習慣性顎関節脱臼の臨床的検討. 第52回日本口腔科学会総会, 1998, 4, 松山.
- 6) 和田重人, 古田 勲, 田沢賢次: デキストラン複合磁性体を用いた癌温熱療法の頭頸部領域への応用-正常舌の加温-. 第52回日本口腔科学会総会, 1998, 4, 松山.
- 7) 高桜武史, 和田重人, 佐渡忠司, 岩井正行, 古田 勲, 小野 繁: 上顎骨に発生した平滑筋肉腫の1例. 第52回日本口腔科学会総会, 1998, 4, 松山.
- 8) 長沢勝将, 伊藤重人, 佐渡忠司, 和田重人, 岩井正行, 古田 勲: 下顎歯肉に浸潤した腰椎原発悪性リンパ腫の1例. 第52回日本口腔科学会総会, 1998, 4, 松山.
- 9) 石井義人, 岩井正行, 伊藤重人, 古田 勲: 顎下腺移行部唾石の口腔内アプローチによる摘出と唾液線機能の評価. 第52回日本口腔科学会総会, 1998, 4, 松山.
- 10) 伊藤重人, 岩井正行, 姚 立, 岳 麗華, 古田 勲: 高度浸潤癌における遺伝子異常に関する免疫組織化学的検討. 第11回富山癌治療懇話会, 1998, 5, 富山.
- 11) 尾口仁志, 軽部康代, 山本瑞恵, 松本亀治, 森戸光彦, 中山圭子, 古田 勲: 各種生体材料と骨との反応-表面構造と材質との違い-. 第14回アパタイト研究会, 1998, 6, 北海道.
- 12) 高桜武史, 長沢勝将, 佐渡忠司, 伊藤重人, 岩井正行, 古田 勲: 外胚葉異形成症の長期経過観察と咬合再建. 第15回日本顎顔面補綴学会総会, 1998, 6, 豊中.
- 13) 長沢勝将, 森川正俊, 石井義人, 奥田泰生, 佐渡忠司, 岩井正行, 古田 勲: インプラントを応用した義歯, 顎義歯の臨床的検討. 第15回日本顎顔面補綴学会総会, 1998, 6, 豊中.
- 14) 竹口英人, 伊藤重人, 佐渡忠司, 岩井正行, 古田 勲, 小野 繁: 高度吸収に伴う下顎骨骨折3症例の検討. 第15回日本顎顔面補綴学会総会, 1998, 6, 豊中.
- 15) Ishii Y., Furuta I., Iwai M., Morikawa M., Itoh S.: Evaluation of Systematic Treatments for Oral Carcinomas in Our Department.

- The Third International World Congress on Maxillofacial Prosthesis, June, 1998, Torino, Italy.
- 16) Itoh S., Furuta I., Sado T., Ishii Y., Iwai M.: Assessment of the Stomatognathic Function in Patients Using Maxillofacial Prostheses with Implants. The Third International World Congress on Maxillofacial Prosthesis, June, 1998, Torino, Italy.
 - 17) Takazakura T., Furuta I., Itoh S., Sado T., Iwai M.: Occlusal Reconstruction in a Patient with Ectodermal Dysplasia. The Third International World Congress on Maxillofacial Prosthesis, June, 1998, Torino, Italy.
 - 18) 川上由美, 伊藤重人, 石井義人, 竹口英人, 岩井正行, 古田 勲: エナメル上皮腫の臨床的検討—治療法と経過について—. 第23回日本口腔外科学会中部地方会, 1998, 6, 名古屋.
 - 19) 小杉弘美, 佐渡忠司, 伊藤重人, 和田重人, 岩井正行, 古田 勲, 奥田泰生: 局所再発を繰り返した舌扁平上皮癌の1例. 第23回日本口腔外科学会中部地方会, 1998, 6, 名古屋.
 - 20) Oguchi H., Nakayama K., Karube Y., Kato M., Furuta I., Morito M., Eguchi G.: In Vitro Response of Human Gingival Epithelial Cells to Biomaterials. 76th International Association for Dental Research, June, Nice France, 1998.
 - 21) 伊藤重人, 佐渡忠司, 長沢勝将, 石井義人, 古田 勲: 再結晶化アパタイトインプラントを応用した顎義歯症例の検討. 第28回日本口腔インプラント学会学術大会, 1998, 9, 大阪.
 - 22) 高桜武史, 石井義人, 伊藤重人, 佐渡忠司, 古田 勲: インプラントにより咬合再建を図った外胚葉異形成症患者の1例. 第28回日本口腔インプラント学会学術大会, 1998, 9, 大阪.
 - 23) Wada S., Tazawa K., Furuta I.: Application of hyperthermia using dextran magnetite complex (DM) for head and neck cancer-heating of normal tongue- The Second Congress of the Asian Society for Hyperthermic Oncology, Sept, 1998, Tokyo.
 - 24) 高橋勝雄, 石井義人, 伊藤重人, 川上由美, 岩井正行, 古田 勲: 軟組織に発生した良性腫瘍の臨床統計的検討. 第43回日本口腔外科学会総会, 1998, 10, 松本.
 - 25) 中山圭子, 古田 勲, 尾口仁志, 軽部康代, 森戸光彦: 各種生体材料の骨親和性に関する実験的検討. 第43回日本口腔外科学会総会, 1998, 10, 松本.
 - 26) 和田重人, 田沢賢次, 古田 勲: Dextran magne-tite complex(DM)を用いた癌温熱療法への頭頸部領域への応用—舌における加温特性—. 第43回日本口腔外科学会総会, 1998, 10, 松本.
 - 27) 古田 勲, 石井義人, 高桜武史, 竹口英人, 伊藤重人, 岩井正行: 成長の停止を待って, 顔面半側骨減量術を施行した線維性骨異形成症の1例. 第43回日本口腔外科学会総会, 1998, 10, 松本.
 - 28) 小杉弘美, 伊藤重人, 和田重人, 岩井正行, 古田 勲: 上顎歯槽部に発生した粘液腫の1例. 第43回日本口腔外科学会総会, 1998, 10, 松本.
 - 29) 沢本正悟, 伊藤重人, 石井義人, 岩井正行, 古田 勲: 巨大な下顎骨嚢胞の摘出開窓による治療と術後経過. 第43回日本口腔外科学会総会, 1998, 10, 松本.
 - 30) 安念博利, 沢本正悟, 和田重人, 伊藤重人, 岩井正行, 古田 勲, 小野 繁: 下顎骨に進展した耳下腺原発悪性多形性腺腫の1治療例. 第41回日本口腔科学会中部地方会, 1998, 11, 金沢.
 - 31) 椎名美子, 高橋勝雄, 和田重人, 竹口英人, 石井義人, 岩井正行, 古田 勲: 顎顔面領域における血管腫の臨床病理学的検討. 第41回日本口腔科学会中部地方会, 1998, 11, 金沢.
 - 32) 今村知代, 岩井正行, 古田 勲: 舌自傷行為患者の心身医学的治療経験. 第41回日本口腔科学会中部地方会, 1998, 11, 金沢.
 - 33) 小杉弘美, 伊藤重人, 竹口英人, 岩井正行, 古田 勲, 佐渡忠司: 高度顎堤吸収症と治療法の検討. 第2回日本顎顔面機能再建学会, 1998, 11, 新潟.
 - 34) 中山圭子, 古田 勲, 尾口仁志, 森戸光彦: 各種生体材料と骨との反応—表面構造と材質との違い—. 第2回日本顎顔面機能再建学会, 1998, 11, 新潟.
 - 35) 伊藤重人, 古田 勲, 和田重人, 高桜武史, 小野 繁, 佐渡忠司: チタンメッシュとPCBMによる下顎再建2症例と機能評価. 第2回日本顎顔面機能再建学会, 1998, 11, 新潟.
 - 36) 今村知代: 舌自傷行為患者の心身医学的治療経験. アルペン口腔科学フォーラム, 1998, 11, 富山.
 - 37) 伊藤重人: 当科におけるICU入室患者の検討. アルペン口腔科学フォーラム, 1998, 11, 富山.

- 38) 竹口英人, 上田美保子: 高度骨吸収に伴う下顎骨骨折の検討. アルペン口腔科学フォーラム, 1998, 11, 富山.
- 39) 古田 勲: 顎顔面領域における最近のインプラント治療の実際. アルペン口腔科学フォーラム, 1998, 11, 富山.
- 40) 尾口仁志, 軽部康代, 山本瑞穂, 松本亀治, 中山圭子, 森戸光彦: 生体外におけるヒト歯肉細胞とチタンとの反応. 第100回日本補綴歯科学会, 1998, 11, 東京.

◆ その他

- 1) 古田 勲: いつまでも美味しく食べられるように—インプラントを併用した歯・顎・顔面の機能回復法—. 滑川市学術講演会, 1998, 5, 滑川.
- 2) 尾口仁志, 軽部康代, 古田 勲: 各種生体材料と骨との反応—表面構造と材質との違い—. Transactions of the 14th Symposium on apatite, June, 1998.
- 3) 古田 勲: いつまでも美味しく食べられるように. 健康づくり教室, 1998, 7, 富山.
- 4) 高桜武史, 山岸聡史, 佐渡忠司, 岩井正行, 古田 勲: 富山医科薬科大学附属病院歯科口腔外科における救急患者の統計的観察. 第50回近畿北陸地区歯科医学会大会誌 32-35, 1998.
- 5) 竹口英人, 小杉弘美, 佐渡忠司, 和田重人, 岩井正行, 古田 勲: 舌に発生した顆粒細胞腫の2例. 第50回近畿北陸地区歯科医学会大会誌 36-38, 1998.

臨床検査医学

教授 櫻川 信 男
助教授 小方 則 夫

◆ 著 書

- 1) 櫻川信男: 凝固・線溶系因子. 「肝臓病学」戸田剛太郎他編, 231-237, 医学書院, 東京, 1998.
- 2) 櫻川信男: 活性化部分トロンボプラスチン時間, プロトロンビン時間, トロンボテスト, ヘパラスチンテスト, トロンビン時間. 「臨床検査ガイド'98」大久保昭行, Medical Practice 編集委員会編, 652-663, 文光堂, 東京, 1998.
- 3) 櫻川信男: 播種性血管内凝固症候群 (DIC). 「私の第一選択薬」宮本正則編, 734-736, 南山堂, 東京, 1998.
- 4) 櫻川信男: 凝固系因子マーカー. 「実践臨床検査医学」大久保昭行他編, 403-404, 文光堂, 東京, 1998.
- 5) 櫻川信男: フィブリノゲン. 「検査の診断効率とピットフォール」中井利昭編, 214-215, 中外医学社, 東京, 1998.
- 6) 櫻川信男: SFMC, FPAおよびFPB β 15-42. 「検査の診断効率とピットフォール」中井利昭編, 216-217, 中外医学社, 東京, 1998.
- 7) 櫻川信男: アンチトロンビンとトロンビン—アンチトロンビン複合体. 「検査の診断効率とピットフォール」中井利昭編, 218-219, 中外医学社, 東京, 1998.
- 8) 小方則夫: 肝細胞染色体へのB型肝炎ウイルスゲノム組込みと肝細胞癌発生. 「肝疾患研究の新しい展開」, 211-226, メディカルレビュー社, 大阪, 1998.

◆ 原 著

- 1) 櫻川信男, 上塚芳郎, 東 克巳, 鈴木節子: 凝固検査標準法の課題と動向. Sysmex Journal 20(2): 6-16, 1997.
- 2) 青木延雄, 松田 保, 櫻川信男他: DIC (汎発性血管内血液凝固症候群) に対する乾燥濃縮ヒト活性化プロテインC製剤 (CTC-111) の臨床試験. 新薬と臨床 47(4): 407-424, 1998.
- 3) Niiya K., Ozawa T., Tsuzawa T., Ueshima S., Matsuo O., and Sakuragawa N.: Transcriptional regulation of urokinase-type plasminogen activator receptor by cyclic AMP in PL-21 human myeloid leukemia cells: Comparison with the regulation by phorbol myristate